(阿弥陀如来)

の阿弥陀



来たる

1

月

9

H

水

から 16

日

水

まで

京都・西本願寺にて御正忌報恩講法要がご修行になります。

皆さまどうぞご参拝ください

沖縄県宗務事務

所

募集しています。問合せ・申込みは特区報「おきなわ」担当まで。特区内寺院・布教所の行事告知・レポート、お寺紹介文などを

メントがありました。 しないことが他力本願だ」というコ このように、 あるテレビ番組で「自分では何も 自分は苦労せずに

他人任せにするという意味で「他力 のことをいいます。 本来は仏教用語で、 本願」が使われることがありますが 阿弥陀仏の本願

も見守ってくださるのが阿弥陀さま 来とは導いてくださる仏さまのこと アミタ(無量)を音写した言葉です(如 インドの言葉アミター やアミターユス 太陽の光が温かく照らし包み 仏さまが私たちをいつ (無量寿) バ 無 0)

(4)

親鸞聖人は9歳の時に出家されて

の願いなのです。

院を紹介しています。今後も皆さまにとって使いやすいホー

別院の沿革や開教の歩みをはじめ、施設案内、行事案内、

活動報告など、幅広く当

ムページをめざして、

ージを開設いたしました。

このたび沖縄県宗務事務所・本願寺沖縄別院のホ

https://www.hongwanji.okinawa/

はなく、 重ねても心の底の悪がなくなること に出遇われたのです。 山を下りて、法然聖人の まれました。しかしどんなに修行を 悩)を捨て去り仏になる修行にはげ から20年間比叡山で、 悩み続けられ、

無阿弥陀仏」と心から念仏申しおま ずにはおれないという光によって照 願」なのです かせてくださる教えこそが「他力本 かせをするしかないのだ、 らしだしてくださるのです。 決して一人で仏になることはできな い私だからこそ、 しみから抜け出すことはできません 私たちには煩悩があり、 阿弥陀如来は救わ 私たち

4

39

開

設

0

お

知

5

自力で悪(煩 「他力の教え」 ついに比叡

法話会【久米島布教所】

常例法座、引き続き仏具お磨き【沖縄別院】 12月9日(日)午前10時~ 法話:西脇順照師(別院職員) もちつき【沖縄別院】

もちつき、引き続き大掃除【久米島布教所】 12月30日(日)午前10時~

2019年1月前半の行事

元旦会【沖縄別院・久米島布教所】 1月1日(火)午前0時30分~

· や 苦

常例法座【天久礼拝所】 11月25日(日)午前10時~ 法話:三戸光英師(別院職員) キッズサンガ【久米島布教所】 11月25日(日)午前10時~

11月25日(日)午後7時~

勤式練習会【沖縄別院】 11月28日(水)午後7時~ 講師:伊波敬人師(浄願寺住職)

12月の行事

12月24日(月) 午前10時~

除夜会【沖縄別院・久米島布教所】 12月31日(月)午後11時30分~

常例法座【沖縄別院】

1月13日(日)午前10時~ 法話:杉浦浄澄師(別院職員)

迷い 11月後半の行事

発 行 沖縄県宗務事務所 発行人 佐々木 龍

₹ 900-0005 沖縄県那覇市天久 2-18-2 電 話(098)860-7009 ファックス (098) 860-7469 mail ameku2182@yahoo.co.jp

ました。 参拝です。 没者追悼法要に

二人そろっての 列衆として出勤 させていただき 坊守と 2 年

淵全戦没者追悼法要がお勤まりとな

前に住職に就いて以来はじめて数日 坊守は法要で献花を仰せつかり



ました。 間お寺を空けることに少し不安はあ 住職になるとはこういうことなのか ださる門徒総代さんに留守をお願い りましたが、ほぼ毎日お寺に来てく があまりなかったので参拝者の数に 東京までの出向が実現しました。 大きな法要に参拝する機会

> 圧倒され、 において非戦平和を誓われる姿を見 ことを偲びつつ、 なものになりました。 が起きるとともに、 まで続くのだろうか?」という想い たときに、 がご参拝されていました。 ないという思いがよりい られた方々の死を無駄にしてはなら で命をおとされた家族や友人たちの 遠近各地から来られた大勢の方々 参拝者席を見渡すと、 平和なのだとすれば、 「今は本当に平和なのだろ いささか緊張したそうです。 阿弥陀さまの尊前 戦争の犠牲とな っそう強固 先の大戦 戦争を体 ころ

どう行動すればよいのか、 訪れます。 近い将来、 験されたと思われる年齢の参拝者が でも実感しまり き時期にきているのだと、 戦争未体験の僧侶が、 圧倒的に少ないことに気づきました。 その時、 戦争体験者ゼロの時代が 私たちのような 考えるべ -鳥ヶ淵



沖縄特区報第93号

第38回

谷寺住職)、角田秋乃氏

(同寺坊守)

に出勤いただきました。

以下は角田

←法要に出勤する佐々木所長(左)

住職からの報告です。 このたび私は第38回千鳥ヶ淵全戦

第38回千鳥ケ

↑法要の様子

9月18日(火)、東京・国立千鳥ケ

りました。

沖縄特区からは、

佐々木

角田哲哉師

千鳥

ケ

淵全戦没者追悼法

報告

別院

のブ

8

)—9月

人間の

(2)

周知し、具体的事例を集約するとと

現行の賦課制度について共通

総合基本計画・重点プロジェクトを

同朋の社会をめざす運動」(実践運動)

院本堂にて、

今年度改定された「御

8 月 30 日

木

午後7時、

沖縄別

冷聴会開催

僧侶育成体系プロジェクトについて今年度改訂された実践運動、宗務財政 宗派が具体的な施策を説明。 また特区から意見を聴取

書担当>)、

岡田義官賛事



めの公聴会が開催されました。 認識を図り、今後の宗門財政につ いて意見聴取と情報共有を行うた 宗派より池田行信総務、 弘中貴

之副総務、白川了信部長(所務部〈文

務所長及び池田行信総務から挨拶が 務が選出されました。 あり、その後、座長に島武夫組長職 開会に先立ち、佐々木龍三宗務事

賦課金は継続して詳しい説明が必要

細に説明されました。 および第2期始動について」を、 「2017年度公聴会の経過報告」お よび「宗門総合振興計画第1期終了 【報告事項】では、 白川部長より 詳

見聴取をされ、多くの参加者が、 系プロジェクト」の3点について、 明されました。その後参加者から意 同部長から具体的施策等について説 政 (現行の賦課制度)」 「僧侶育成体 をめざす運動(実践運動)」「宗門財 を述べられました。 に人材育成や宗門財政について意見 【協議事項】では、「御同朋の社会 得度における居

務担当〉)の4名が出向され、特区か 門信徒を合わせ約25名が (所務部 射 明がありました。また、宗門財政に 行うことが検討されていて、これか ラム中に比叡山にて1泊2日で執り ついては、 士林研修については、 ら様々な議決機関を経て定めると説 新たに賦課された第4種 得度カリキュ

出席しました。

さなければならない」、池田総務より は今まで以上に普段の生き方を見直 であるなど、意見交換が行われました。 最後に、 弘中副総務より「私たち

与えられるかどうか。人を育ててい 宗教的な感動を与えることのできる 「智慧と慈悲という教えが伝わるに 会を作っていくことがこれからの課 大切。その場その場の言葉が感動を くことによって自他共に心豊かな社 人に育てること。それには、言葉が 人が重要である。 人を育てるとは、

だき、「恩徳讃」を斉唱して、 題である」と、 なりました。

まとめの挨拶をいた

閉会と

お勤めしました。 者追悼法要」を どり丸遭難犠牲 慰霊碑前で「み 林公園内、 午前9時より **久米島町銭田森** 九遭難犠牲者 8 月 17 日 みど

泊港との定期船「みどり丸」の事故 久米島と那覇の 縄で戦後最悪の海難事故でした。 は1963年8月17日に起きた、 沖

向けられ、

大慈悲ともいいます

法要後には、参拝者の皆さんと茶

の「慈悲」はすべてのいのちにふり

仏さま

す」と話されました。 勤めていただけるのは有難いことで ご遺族の方は「毎年命日に法要を

について次のようにお話をしました。 輪番から仏さまの「智慧」と「慈悲」 会法要を勤修しました。佐々木龍三 9月23日 (日)、別院本堂にて彼岸 私たち人間の分別の基準は

ます。自 等にみるのが仏さまの「智慧」です。 存在ですが、それを一つのように平 別智」といいます。それに対して、 仏さまは、智慧によってすべての苦 仏さまの見方を「無分別智」といい 都合による自己中心的な見方を「分 分の都合」という物差しで、 しみを知り、 「慈悲」をおこされます。 (分)と他(人)は別々の 自分の痛みとされるた



要を勤修しました。 天久礼拝所、

した。

沖縄特区報第93号

修しました。たくさんの方々にお参 りいただきま 布教所において、 8 月 12 日 **三** 盂蘭盆会法要を勤 別院並びに久米島

8月23日(木)~25日(土)には別院、 久米島布教所で旧盆法

> 壇に手を合わせた後は、 で、にぎやかに食事をとられていま 多くの方がご参拝されました。納骨 延長し、朝早くから夜遅くまで毎日 旧盆中は別院納骨堂の開閉時間を 沖縄の風習

↑盂蘭盆会